

## 気候変動適応法に基づく指定暑熱避難施設に係る協定書

〇〇（以下「甲」という。）と美濃加茂市（以下「乙」という。）は、次のとおり協定を締結する。

### （目的）

第1条 この協定は、気候変動適応法（平成30年法律第50号）に基づく指定暑熱避難施設について、熱中症による人の健康に係る被害の発生の防止が図られるよう、当該施設の指定暑熱避難施設としての指定及び運営に当たり必要な事項を定めることを目的とする。

### （定義）

第2条 この協定で使用する用語の定義は、気候変動適応法の用語の定義によるものとする。

### （協定の目的となる指定暑熱避難施設）

第3条 この協定の目的となる指定暑熱避難施設（以下「対象施設」という。）は、次に掲げるとおりとする。なお、複数の場合は別表のとおりとする。

(1) 名称

〇〇

(2) 所在地

美濃加茂市〇〇

### （供用部分）

第4条 対象施設において、住民その他の者の滞在の用に供する部分（以下「供用部分」という。）は別図のとおりとする。

### （開放可能日等）

第5条 対象施設の開放可能日等、開放により受け入れることが可能であると見込まれる人数は、次に掲げるとおりとする。

(1) 開放する曜日

(2) 開放する時間帯

(3) 開放により受け入れることが可能であると見込まれる人数

人

(施設の管理)

第6条 対象施設の責任部署は、次に掲げるとおりとする。

所属部課：

電話番号：

メールアドレス：

(熱中症特別警戒情報の発表時の対応)

第7条 甲は、環境省による情報伝達システムに登録し、熱中症特別警戒情報の発表情報を得るものとする。

2 甲は、当該熱中症特別警戒情報の発表期間中、第5条に定める開放可能日等において、対象施設のうち第4条に定める供用部分を一般に開放するものとする。

3 前項による対象施設の開放中における住民その他の者の滞在に係る対応は、甲においてこれを行うものとし、必要に応じ乙に協力を求めることができる。

(熱中症特別警戒情報の発表時以外の対応)

第8条 甲は、熱中症特別警戒情報の発表時以外においても、住民その他の者が暑熱を避けるための滞在場所として、第5条に定める開放可能日等において、対象施設のうち第4条に定める供用部分を一般に開放にしよう努めるものとする。

2 前条第3項の規定は、前項の規定により供用部分を一般に開放する場合において準用する。

(変更の協議)

第9条 甲は、対象施設の営業時間の変更や増改築等に伴い本協定の内容に変更が生じる場合は、あらかじめ乙と協議するものとする。

(協定の有効期間)

第10条 この協定の有効期間は、協定の締結日から協定締結日が属する年度末日までとする。ただし、当該期間の満了の3か月前までに、甲又は乙のいずれからも協定の更新をしない旨の申出がなかった場合には、協定は、引き続き同一の条件で1年間更新されるものとし、以後も同様とする。

(協議)

第11条 本協定について疑義が生じたとき又は本協定に定めがない事項について取扱いを定める必要があるときは、その都度、甲及び乙が協議して定めるものとする。

本協定の締結を証するため、協定書2通を作成し、甲及び乙が記名押印のうえ、各自1通を保有するものとする。

令和 年 月 日

甲

乙 岐阜県美濃加茂市太田町3431番地1  
美濃加茂市長

別表

施設名	所在地	受入可能人数	開放可能日・時間